



馬の学校

馬の学校通信

2011. 6 vol.42

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 名古屋市天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX : 052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : http://www.horseschool.org



夏のプログラム 参加者募集！！

ウマキャンプ (3泊4日)

日程 : 8月17日(水)~8月20日(土) 山梨・小須田牧場

対象 : 小学4年生~高校3年生 (定員 6名)

参加費 : ¥41,000 (現地集合・解散)

*大阪集合解散の場合、小学生 ¥50,000 中学生以上 ¥55,000

★お申し込みは、会員の皆さまは6月25日(土)から、一般の方は6月27日(月)からとなります。6月25日~7月6日までの間は、峯崎の携帯電話 : 090-9867-5611 のみで受け付けます。7月7日以降は電話・FAX・メールでも受け付けます。(留守電になっている場合は、メッセージを残していただければ、こちらからご連絡いたします)

春のプログラム 活動報告

馬とのふれあいプログラム

(4/24・5/21・6/11)



「初めまして、よろしくね！」



兄弟で仲良くブラシがけ



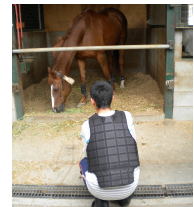
馬って大きい！



「生まれ〜」



軽速歩の練習中です



何だかいい時間♪



馬小屋そうじのベテラン！



のんびりじっくり...



「角さん、こっちだよ」



「ありがとう！」(角さん)

*ファミリープログラム(4/23)は雨天中止となりました

うまやさん in 安曇野遊人

日程 : 6月25日(土)~7月3日(日)

午前 10:30~午後 4:00



場所 : ろっぢ安曇野遊人 (安曇野市穂高有明 7352-32)

馬グッズの販売 バンダナ・ポストカード・キーホルダー・

木のおもちゃ・文房具など

馬の図書館 馬の図鑑・絵本・物語・古書など

カフェ コーヒー・紅茶・クッキー・ケーキなど

うま講座 各回 500円 (お茶・お菓子付) 定員 10名

①6月26日(日) 午後 1:00~3:00

馬の基礎知識・馬と子どもの関係

②6月29日(水) 午後 1:00~3:00

馬の基礎知識・馬と癒しの関係

*詳しくはブログをご覧ください。http://ameblo.jp/horseschool/

馬の学校会員の方には特別プレゼントを用意しています。子どもたちが遊べるパズルや絵本、ぬりえもありますので、ぜひお子様と一緒に楽しくください！





「クローバー牧場」OPEN!

*ウマキャンプをお手伝いいただいていた志村さん(シム:元小学校の先生です)からのお知らせです。

ふれあい乗馬楽園クローバー牧場が今春、山梨県山中湖にオープンしました。「気軽に気楽に馬とふれあい、馬に乗る」をコンセプトに、たくさんの方々に利用していただける乗馬牧場を目指します。そして、不登校児童生徒の学校復帰・ひきこもりの人たちの社会復帰を積極的に支援する活動も行います。ご興味のある方はご連絡ください。また、山中湖にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

お問い合わせ 090-4620-2962

クローバー牧場 志村



おすすめの本

『小さなウマ飼いになる』

小さなウマ好き編集部 編 誠文堂新光社

ミニチュアホース、ポニー、在来馬の飼い方の本です。実際に飼っている方の体験談、馬についての基礎知識、馬の飼育方法と病気、馬の歴史、馬の雑貨の紹介など、盛りだくさんの内容です。同じシリーズに「ヤギ飼いになる」もあり、読んでみると、私にもウマ飼えるかも?!と思えます。あちこちの庭先でウマが飼われていたら…想像するだけでも楽しいですね。(でもイギリスの郊外だと、よく見られる風景です)



馬の行動(2) 前がき

みなさんは馬が前足で地面をかいているのを見たことがありますか?おそらく、にんじんをあげるときによくやっていると思うのですが…。それは「前がき」といって、「～がほしい」「～してほしい」といった要求を表す行動です。頭のいい馬(いや、食いしん坊の馬)ならにんじんが入っているビニール袋の「シャカシャカ」という音を聞くだけで、前がきを始めてしまいます。そして1頭の馬が前がきを始めると、その場にいるほとんどの馬たちが前がきを始めます。みんな、にんじんをほしい気持ちは一緒なのですね。でもよく見ると、前がきにも個性があるのがわかります。「がりがり」と思いきり地面をかく馬、ちょっと控えめに「がり」ぐらいな馬、ものすごく控えめに空中でかくしぐさをする馬など、いろいろです。見る機会があったら、ぜひ観察してみてください。

あと、お腹が痛いときなどにも前がきをするので注意が必要です。あまりエサを食べていない、ポロをしていないなどがあれば疝痛(お腹が痛くなる病気)で「お腹が痛いよ～」と言っているのかもしれませんが。たとえば、赤ちゃんが泣いた時、そのときの様子でミルクをあげるか、オムツをかえるか、だっこしてあげるか、考えますよね。そんなふうに「何をしてほしいのかな?」と考えながら見てみると、馬の気持ちが少しわかるかもしれません。



編集後記

今年は梅雨入りが早かったので、梅雨明けも早いのでしょうか・・・?

馬の学校の活動を始めて13年目、あっという間だったとも思いますが、かつて小学生だった子どもたちが高校生や大学生、社会人になったと聞くと、時の流れを強く感じます。たとえ年に1~2回であっても、参加し続けていただき、子どもたちの成長を共に見守らせていただけることは、私たちにとって喜びであり、ありがたいことだと思っています。またこの春は、参加者がボランティアとして手伝ってくれることが増えています。彼ら・彼女らが与えられた役割をこなすだけでなく、自分で考えて行動し、参加している子どもたちの気持ちに寄り添っていろいろと考えてくれる姿を見ると、馬とのかかわりを通して伝えたかったことが、少しでも伝わっていたのだととても嬉しくなります。教えられることもたくさんあり、またこれからも続けていこうという勇気をもらえています。

(峯崎 友香理)